



学校だより

「城島」

令和4年6月9日 NO. 6

久留米市立城島小学校

校長 原田敏男

コロナ禍での教育活動

感染者が少しずつは減少してきている状況ですが、教育活動は日々行われています。そんな中、細心の注意を払いながら、少しでもコロナ禍前の教育活動に近づけるよう、取り組んでいます。

三瀧高校生による新体力テスト補助

先日は、三瀧高校の体育コースの生徒さんが、本校の新体力テストの手伝いをしに来てくれました。まずは、種目の説明、そして、示範。体育コースだけあって、とても立派な示範でした。その後は、子どもたちの取り組みの記録を取ってくれました。この高校生の中に、城島小学校の卒業生が一人いて、たくましく成長していた姿に大変驚かされるとともに、とてもうれしく思いました。



地域の方による読み聞かせ

地域の方による読み聞かせも再開しました。これまでは、読み聞かせをしてくださる方のそばに集まり、間近で聞いていましたが、さすがにそれはできません。日頃の学習の隊形で授業をするような形で距離をとって読み聞かせをしています。子どもたちは、変わらず、目を輝かせながら集中して聞いています。読み聞かせは、子どもの心を耕すためにも大切です。ご家庭でも、時間の許す限り、取り組まれてはいかがでしょうか。

その他の活動

田植え、社会見学、校区探検など安全を最優先に考えながら、これまで行ってきた学習活動を再開していきます。ただし、さまざまな時間の制約から、これまでの行事を見直している部分もあります。コロナが収まって、今回見直した活動はそのまの内容、時間帯で続けていくものもあります。

日曜参観 教養講座

日曜参観の教養講座は、立花学園の校長先生の話です。マスコミにも多数取り上げられるとともに、私自身も講話を拝聴したことがあります。子どもたちの頑張りに寄り添い、そして、自信をつけさせ、伸ばしていくという話に、単なる甘やかしではなく、一人一人のの違いに目を向け、支援することの大切さを学んだ覚えがあります。ぜひ、多くの皆さんにもお聞きいただければと思います。

